

こどもたちの冒険が始まる！ 新しい遊び場が誕生

藤山健康文化公園に「すくすくガーデン」がオープンしました。「すくすくガーデン」は、1～3歳のお子さんが安心して遊ぶことができる遊具を備えた遊び場です。

3月23日(土)には、ベビー用おもむつ自販機のお披露目式も行われ、園児から市長に感謝状が贈られました。令和6年度には、(仮称) 町谷きつずパークなどの整備も計画されており、これらの施設を通じて多くの子どもたちが交流し、ふれあう場を提供していきます。



小西保育園の園児



空と海認定こども園の園児



大井幼児園の園児

今治版ネウボラ拠点施設

3月21日(木)、「今治版ネウボラ拠点施設整備基本計画(案)」の答申がありました。計画を審議した今治市子ども・子育て会議の泉会長からは「子育てがしやすいまちとして、今治市のシンボルとなるような施設を目指してほしい」とのお言葉をいただきました。今後も機能や運営方針の議論を深め、設計・施工に反映をさせながら令和12年度(2030年度)の供用開始を目指します。



▲施設イメージ図



今治市SDGs宣言

「選ばれるまち」「住み続けたいまち」「戻りたいまち」となるよう、SDGsの視点から持続可能なまちづくりを目指して、今治市SDGs宣言をしました。

3月24日(日)は関連イベントが開催され、子どもたちが楽しそうに遊びながらSDGsを学びました。

その中で、市役所の若手職員たちが作ったオリジナルの「バリバリSDGsボードゲーム」の体験会もありました。サイコロを振って、SDGsを達成しながらパワーをためて、怪獣を倒すゲームとなっています。

後日、市街地周遊型謎解きイベント「タイ長のSDGsナゾキ大航海」も開催され、約300人が楽しんでいました。





新たな歌姫が誕生

2月24日(土)に行われた「NHKのど自慢チャンピオン大会2024」において、見事グランドチャンピオンに輝いた西山絵美子さんに今治市文化賞を贈りました。

33,374組のトップになった瞬間を西山さんは「名前を呼ばれた瞬間はびっくりしすぎて記憶にないです。のど自慢を通して、たくさんの幸せな時間を過ごせました」と話し、最後に素敵な歌声も披露してくれました。



▲優勝後の笑顔が素敵です



バリィさんがお出迎え

市役所のエレベーターがいまばりバリィさんでラッピングされました。今治市合併20周年記念大使であるバリィさんが、皆さんをお出迎えします。ぜひお越しください。



▶代表あいさつ 石井さん



新しい仲間が増えました

4月1日(月)、市役所で地域おこし協力隊任命式が行われました。新たに配属された8人が地域の課題を解決し、瀬戸内の新しい風を吹かせていきます。

新隊員(左から)

- ・町田 勇弥さん(波方支所)
- ・三木 典子さん(上浦支所)
- ・福濱 陽汰さん(文化振興課)
- ・兵頭 慎二さん(宮窪支所)

新隊員(右から)

- ・山本 晴義さん(農林水産課)
- ・石井 雄一さん(農林水産課)
- ・森山 数也さん(地域振興課)
- ・原 光佑さん(地域振興課)



医師会と連携した安心安全なまちへ

令和6年能登半島地震をうけて、今治市医師会より寄付金をいただきました。寄付金の半分は当市を通じて被災地へと送られ、残りは当市の保健師が、来たる災害時に活動するための備品の購入費用に充てられることになりました。

また、3年間の新型コロナのワクチン接種体制の構築にご尽力いただいたことに対し、医師会および医療機関に感謝状を贈呈しました。

医療従事者の方々に深く感謝するとともに、安心安全なまちづくりのため、引き続き医師会と一丸となって取り組んでいきます。



若い人たちに期待すること

3月23日(土)、株式会社今治・夢スポーツ代表取締役の岡田武史さんと建築家の伊東豊雄さんが、はーばりーでトークイベントを行いました。テーマは「今治を元気にするためにー若い人たちに期待すること」。

岡田さんは「次世代のために、物の豊かさよりも心の豊かさを重視してきました。若い人たちにも、自らの理想を実現させるため、困難を乗り越える力を身につけてほしい」と話し、伊東さんは「現代の若者はやりがいを求めています。私が専門学校で教えていると、学ぼうとする意欲が目に見えて伝わってきます」と、自身の経験を交えながら参加者に語りかけました。



オーガニックビレッジ宣言

3月26日(火)、SDGsを推進する今治市は、環境に配慮した有機農業の伝統を発展させ、さらに地域特性を生かしたオンリーワンの有機農業振興策を展開するため、県内初となる「オーガニックビレッジ宣言」をしました。

「オーガニックビレッジ宣言」のセレモニーでは、今治在住でレシピ開発や飲食店プロデュースなどを手掛ける小林友香子さんと眞鍋亮子さんが、地元の有機野菜を使って食空間を演出し料理を振舞いました。



朝倉ダム緑水公園まつり

4月7日(日)、朝倉ダム緑水公園まつりが5年ぶりに開催されました。満開の桜の花びらが舞い散る中、参加者はマス釣り体験を楽しんだり、心地よいブルーグラスフェスティバルに魅了されていました。

緑水公園は、美しい自然景観で知られ、キャンプ場としても大変人気があります。当日は新鮮な空気を満喫しながら、家族連れや友だち同士で楽しいひとときを過ごす姿も多く見られました。